



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 赤木 勤 (TEL) 06-6455-9141
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	191,254	△0.5	23,992	△2.5	35,653	△0.8	173,088	601.6
26年3月期第3四半期	192,296	9.4	24,601	20.3	35,950	43.1	24,671	55.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 179,013百万円(338.2%) 26年3月期第3四半期 40,852百万円(139.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	648.96	—
26年3月期第3四半期	93.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	742,840	538,953	62.5
26年3月期	324,028	207,715	60.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 464,480百万円 26年3月期 194,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
27年3月期	—	10.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	262,000	0.5	34,000	1.8	49,000	4.6	181,000	462.9	648.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) Nippon Paint (H.K.) Co., Ltd. 、除外 0社 (社名) -
Nippon Paint China Holdings Co., Ltd.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	325,402,443株	26年3月期	265,402,443株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	4,692,676株	26年3月期	4,678,873株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	266,717,938株	26年3月期3Q	263,110,818株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,912億54百万円（前年同期比0.5%減）、連結営業利益は原材料コストの上昇などにより239億92百万円（前年同期比2.5%減）、連結経常利益は356億53百万円（前年同期比0.8%減）となりました。連結四半期純利益につきましては、アジア地域の合弁会社の持分取得（子会社化）を実施したことに伴い、特別利益として段階取得に係る差益1,488億円を計上したことから、1,730億88百万円（前年同期比601.6%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除き12月期決算を採用しており、当第3四半期連結累計期間の対象期間は2014年1月から9月となります。

《日本》

当地域では、自動車生産台数が減少するなか、自動車用塗料の売上高は前年同期並みとなりました。工業用塗料については、建設機械向け塗料などが堅調に推移する一方、住宅資材向け塗料の出荷が減少したことなどから売上高は前年同期を下回りました。汎用塗料は、市況が低調に推移したことから、売上高は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は1,378億74百万円（前年同期比0.0%増）となりました。連結営業利益は原価低減活動による成果はあったものの、原材料価格の上昇などにより193億76百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

《アジア》

当地域では、連結子会社については、タイは政情不安による景気減速の影響を受け、売上高は大幅に減少しました。一方、中国では日系自動車メーカーの販売台数増加に伴い、自動車向けプラスチック用塗料の売上高が増加しました。

これらにより、当地域の連結売上高は322億32百万円（前年同期比5.1%減）、連結営業利益は32億60百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

持分法適用会社につきましては、その中核である中国において、不動産市況が低迷する中、住宅内装用塗料の売上高が引き続き好調に推移したことに加え、継続して原材料を中心としたコスト削減に取り組んでいることから、収益性がさらに向上しました。これらにより、持分法投資利益は100億40百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

《北米》

当地域で展開している自動車塗料事業は、期初（2014年1・2月）の寒波と昨年度末に一部不採算事業を売却した影響もあり、現地通貨ベースの売上高は減少したものの、為替の影響により円ベースでは増加しました。

この結果、当地域セグメントの連結売上高は183億89百万円（前年同期比3.2%増）に、連結営業利益は18億52百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

《その他》

当地域セグメントの連結売上高は27億58百万円（前年同期比1.3%増）となり、連結営業利益は72百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

また、昨年度にドイツ塗料メーカーの株式39%を取得したことに伴い、当期から計上する当地域の持分法投資損益は、のれんの償却負担もあり73百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して4,188.1億円増加し、7,428億40百万円となりました。主な要因は、法人税や配当金の支払い及び借入金の返済により現金及び預金が減少した一方で、当社とWuthelam Holdings Ltd. との間の合弁会社8社及びこれらの子会社38社を連結の範囲に含めたことによる増加によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して875.7億円増加し、2,038億87百万円となりましたが、主な要因は、借入金を返済した一方で、当社とWuthelam Holdings Ltd. との間の合弁会社8社及びこれらの子会社38社を連結の範囲に含めたことによる増加によるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して3,312.4億円増加し、5,389億53百万円となりました。主な要因は、平成26年12月5日付けの第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ

れ51,150百万円増加したことに加え、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および従来持分法を適用しておりました当社とWuthelam Holdings Ltd. との間の合弁会社8社及びこれらの子会社38社を連結の範囲に含めたことによる少数株主持分の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.0%から62.5%へ上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、売上高は、日本セグメントにおける汎用塗料需要の落ち込みやアジアセグメントでのタイの政情不安による景気後退の影響が、下期に至っても回復の見込みがないことから、平成26年5月9日に発表した予想を下回る見通しです。

経常利益につきましては、中国を中心とした持分事業の好調ならびに円安による為替差益の計上により、予想を上回る見通しです。

また、平成26年12月8日付「アジア地域の合弁会社の持分取得（子会社化）の実行及び第三者割当による新株式発行の完了に関するお知らせ」においてお知らせしましたとおり、中国・マレーシア・シンガポールに所在する、当社とWuthelam Holdings Ltd. との間の合弁会社8社の持分取得を通じた当社によるマジョリティ化を平成26年12月2日に実行いたしました。このため、当社が従前から保有する合弁会社8社の持分を再評価した「段階取得に係る差益」が生じ、特別利益として1,488億円を計上しました。

以上を踏まえ、前回発表した通期業績予想を次のとおり修正いたします。

平成27年3月期通期連結業績予想数値(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	270,000	34,500	47,000	32,500
今回修正予想(B)	262,000	34,000	49,000	181,000
増減額(B-A)	△8,000	△500	2,000	148,500
増減率(%)	△3.0	△1.4	4.3	456.9

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、中国・マレーシア・シンガポールに所在する当社とWuthelam Holdings Ltd.との間の合弁会社8社の持分取得を実施したことに伴い、下記の8社及びそれらの子会社38社を連結の範囲に含めております。

Nippon Paint (H.K.) Co., Ltd.
 Nippon Paint (China) Co., Ltd.
 Guangzhou Nippon Paint Co., Ltd.
 Nippon Paint (Chengdu) Co., Ltd.
 Nippon Paint (Singapore) Co., Pte. Ltd.
 Paint Marketing Co. (M) Sdn. Bhd.
 Nippon Paint (Malaysia) Sdn. Bhd.
 Nipsea Technologies Pte. Ltd. ほか38社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第3四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,973百万円増加し、利益剰余金が1,268百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ90百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,591	96,228
受取手形及び売掛金	86,714	150,606
たな卸資産	28,611	53,172
繰延税金資産	4,712	8,078
その他	9,033	25,519
貸倒引当金	△492	△3,104
流動資産合計	172,171	330,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,433	41,031
その他(純額)	34,367	53,870
有形固定資産合計	61,801	94,901
無形固定資産		
のれん	10,984	250,426
その他	3,699	7,265
無形固定資産合計	14,684	257,692
投資その他の資産		
投資有価証券	72,025	53,648
繰延税金資産	1,888	1,172
その他	1,972	5,415
貸倒引当金	△514	△491
投資その他の資産合計	75,371	59,745
固定資産合計	151,857	412,339
資産合計	324,028	742,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,026	81,162
電子記録債務	11,824	13,112
短期借入金	12,015	12,938
リース債務	281	228
未払法人税等	6,442	8,064
その他	15,462	57,231
流動負債合計	91,052	172,736
固定負債		
長期借入金	754	1,529
リース債務	895	1,116
繰延税金負債	1,427	2,991
役員退職慰労引当金	245	241
環境対策引当金	328	310
退職給付に係る負債	17,496	18,248
その他	4,111	6,712
固定負債合計	25,259	31,150
負債合計	116,312	203,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	78,862
資本剰余金	27,187	78,338
利益剰余金	140,270	306,355
自己株式	△6,389	△6,425
株主資本合計	188,782	457,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,827	10,285
繰延ヘッジ損益	△1	8
為替換算調整勘定	2,618	82
退職給付に係る調整累計額	△3,661	△3,027
その他の包括利益累計額合計	5,783	7,349
少数株主持分	13,149	74,472
純資産合計	207,715	538,953
負債純資産合計	324,028	742,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	192,296	191,254
売上原価	122,484	122,774
売上総利益	69,811	68,479
販売費及び一般管理費	45,210	44,486
営業利益	24,601	23,992
営業外収益		
受取利息	53	97
受取配当金	518	842
持分法による投資利益	8,730	9,967
為替差益	2,421	1,792
その他	878	821
営業外収益合計	12,601	13,521
営業外費用		
支払利息	211	135
組織再編関連費用	—	462
その他	1,041	1,263
営業外費用合計	1,252	1,860
経常利益	35,950	35,653
特別利益		
固定資産売却益	57	19
段階取得に係る差益	—	148,800
その他	95	0
特別利益合計	153	148,820
特別損失		
固定資産除売却損	358	106
退職給付制度改定損	467	—
その他	59	47
特別損失合計	885	154
税金等調整前四半期純利益	35,218	184,319
法人税等	8,724	9,360
少数株主損益調整前四半期純利益	26,493	174,958
少数株主利益	1,822	1,870
四半期純利益	24,671	173,088

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,493	174,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,037	3,900
繰延ヘッジ損益	2	21
為替換算調整勘定	3,909	5,978
退職給付に係る調整額	—	632
持分法適用会社に対する持分相当額	5,409	△6,478
その他の包括利益合計	14,358	4,054
四半期包括利益	40,852	179,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,168	174,654
少数株主に係る四半期包括利益	2,683	4,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社は、平成25年8月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく、自己株式の取得を決議し、平成25年9月2日から9月6日までの買付をもって自己株式3,942,000株(取得価額5,998百万円)を取得いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,381百万円(4,674,022株)となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社は、平成26年12月5日付で、Nipsea International Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が51,150百万円、資本準備金が51,150百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が78,862百万円、資本剰余金が78,338百万円となっております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社とWuthelam Holdings Ltd. との間の合弁会社8社の持分をWuthelam Holdings Ltd. より追加取得し、当該8社及び、これらの子会社38社を連結の範囲に含めたことに伴い、段階取得に係る差益を計上し、利益剰余金が148,800百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	137,807	33,948	17,818	189,573	2,723	192,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,429	2,339	90	11,858	688	12,547
計	147,236	36,287	17,908	201,432	3,411	204,844
セグメント利益	19,780	3,052	1,621	24,454	74	24,528
持分法投資利益又は損失(△)	△0	8,731	—	8,730	—	8,730

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	24,454
「その他」の区分の利益	74
セグメント間取引消去その他の調整額	72
四半期連結損益計算書の営業利益	24,601

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	181,495	9.3
自動車用	68,994	12.9
汎用	37,509	11.4
工業用	35,649	7.5
その他塗料	39,343	3.1
ファインケミカル	10,801	11.5
合計	192,296	9.4

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	137,874	32,232	18,389	188,496	2,758	191,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,083	3,002	104	13,190	805	13,996
計	147,958	35,234	18,494	201,687	3,563	205,250
セグメント利益	19,376	3,260	1,852	24,489	72	24,562
持分法投資利益又は損失(△)	—	10,040	—	10,040	△73	9,967

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	24,489
「その他」の区分の利益	72
セグメント間取引消去その他の調整額	△569
四半期連結損益計算書の営業利益	23,992

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が90百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アジア」セグメントにおいて当社とWuthelam Holdings Ltd. との間の合弁会社8社の持分をWuthelam Holdings Ltd. より追加取得し、当該8社及び、これらの子会社38社を連結の範囲に含めました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、235,793百万円であります。

5. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	179,614	△1.0
自動車用	68,053	△1.4
汎用	35,300	△5.9
工業用	35,005	△1.8
その他塗料	41,254	4.9
ファインケミカル	11,639	7.8
合計	191,254	△0.5

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。